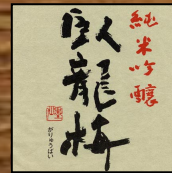


『臥龍梅』 歳便り

平成三十年睦月



明けましておめでとうございます。今年のお正月は如何お過ごしだったでしょうか。

今月もご報告することが盛りだくさんです。昨年12月13日(水)、港区芝公園の東京プリンスホテル 2F 鳳凰の間で開かれた**静岡市交流会 in 東京**に参加いたしました。何やら聞きなれない名称のイベントで、参加を打診されたとき、私もそれって何?と思いました。静岡市が主催する会で、静岡市出身の首都圏勤務者、在住者を集めて交流会を催し、静岡市を全国にアピールするためのお手伝いをお願いするのが主旨のようです。今年で6回目ですが、そこに地酒が入ればもっと盛り上がるだろうということでお声がかかりました。市長以下行政のトップから地元選出の代議士、各国大使までお歴々が出席しましたが、始まってしまえばいつものお酒の会とかわりません。広い会場が500人以上のお客様でごったがえしました。いつも**臥龍梅を愉しむ会**に参加してくれる母校、清水東高の同窓



生の友人たちが大勢詰めかけてくれ、旧交を温めることができました。用意したお酒はどれも好評でしたが、純米吟醸の新酒初搾りの人気が高かったようです。その翌週、12月19日(火)の晩には、その清水東高の定時制のクラスで開催された清水税務署主催の**租税教室**に参加しました。税務署という固くて取っ付きにくいお



役所という印象ですが、一般市民に税務行政をアピールするための広報活動にも取り組んでおります。私の役目は地元の酒類行政連絡協議会の会長としてお酒の魅力と嗜み方、そして酒税についてレクチャーすることでした。普通のセミナーですと最後にお酒を試飲していただいてお開きになるのがパターンですが、受講者のほとんどが未成年ですし、その後も講義が控えているとあってそうはまいりません。学生



諸君が私のつたない内容のセミナーに真剣に耳を傾けてくれたのが印象的でした。それにしても、40数年ぶりに母校の教室で教壇に立つとは思いませんでした。明けて1月5日(金)の晩には、静岡商工会議所が駿河区のグランシップで開催した恒例の賀詞交換会、**新春会員の集い**に参加しました。広大な会場に1,400名以上の会員が出席し、臥龍梅の4斗樽の鏡開きでスタートしました。商工会議所の賀詞交換会としては全国でも最大規模だそうですが、壇上に4斗樽を3本並べて18人で鏡割りするというのも最大規模だと思います。会場の四隅には弊社の他に地酒3社、ビール会社3社がブースを構えてとっておきのお酒を振る舞いました。わが臥龍梅ブースでは、愛山、山田錦、備前雄町、短程渡船、五百万石、誉富士という6種類のお米違いの純米大吟醸をご用意いたしました。どのお酒も好評で完売となりましたが、ここに記した順番に売り切れていきました。地元で臥龍梅の認知度が高まっていることを実感いたします。



さて今月は、**山田錦 55%の純米吟醸袋吊り雫酒**、先月あつという間に売り切れてしまった**誉富士 55%の純米吟醸袋吊り雫酒**、さらに**2月初旬の立春**に合わせて**純米吟醸初春しぼり**の予約発売をご案内いたします。どれも人気商品ですのでお早めにご注文ください。

厳しい寒さのなか、ご一同様ますますお健やかに。

平成三十年一月吉日

敬具

鈴木 克昌